

## 3-2. 今年度の取り組み

### 短期教育目標

### 具体的な取り組み

分かる授業

1. 教育課程の充実
2. 基礎学力の定着
3. 分かる授業の推進

- ・行事等での授業カットについて検討し、授業時間の確保に努める。
- ・補充教室はできるだけ5日間確保し、定期考査前に必ず実施する。
- ・朝の読書のほかに学力補充テストを計画的に行う。
- ・予習、復習の指導や課題を与えることで自宅学習を充実させる。
- ・ICT機器を使って、より分かりやすい授業を各教科で行う。
- ・機器の充実と研修を進めていく。
- ・生徒授業アンケートや授業旬間などの機会を利用し授業を改善する。

楽しい学校

4. 読書活動の推進
5. 適切な進路指導に全職員で取り組む
6. いじめ・不登校対策
7. 生徒会活動や部活動の推進
8. 安全・防災教育の推進
9. 設備、施設点検を実施
10. 思いやりの心を育む  
人権学習の充実

- ・教師や図書委員による図書の紹介や全校読書会などで読書への興味を高めていく。
- ・国語の授業だけでなく他の教科でも図書室の利用を進めていく。
- ・3年間を見据えた計画的な進路指導を行い、長期休業中や定期考査前の学習会を充実させる。
- ・支援を要する生徒への理解を深め、個別指導を行う。
- ・カウンセリングなどの機会を利用し個別指導を充実させる。
- ・教育相談体制の確立と相談票の有効活用。
- ・生徒と触れ合う機会を通し、生徒のいるところには教師もいる体制づくりを進める。
- ・支援を要する生徒への丁寧な対応を心がける。(別室登校等)
- ・職員研修(いじめ防止対策推進法・本校のいじめ方針)の充実。
- ・リーダーの育成に努める。
- ・成就感や達成感を味わわせる活動の推進。
- ・避難訓練、防災教育を年間に2回実施する。
- ・生徒会、部活動を中心に地域の防災訓練などに積極的に参加する。
- ・防災マニュアルの見直しを進める。
- ・教室・施設備品の点検を毎月実施する。
- ・人権学習をすすめ、いじめ、差別をなくす意識を高める。
- ・人権学習の様々な取り組みを通じて、豊かな心の育成に努める。
- ・人権意識の向上を図るため、職員研修を充実させる。

家庭地域学校  
の連携

11. 学校公開デーの推進
12. 小学校、家庭、地域との連携を図る

- ・ホームページやプリントによる告知の回数を増やし、学校公開デー、保護者会、行事等への保護者の参加率を55%以上にする。
- ・小中合同職員研修会を実施し、共に健全育成に努める。
- ・家庭、地域との連携を図り、共に健全育成に努める。
- ・学校HPや「かけはし」などを通して、情報の発信に努める。

学校  
情報発信する

13. 情報の公開の推進

- ・ホームページ更新の研修を行い、学年行事や部活動を中心に、多くの先生方による更新に努める。

運営学校全般

14. 学校運営の重点化・効率化
15. 校舎・教室・トイレなどを大切に美しく使用する態度を養い実践する
16. 省エネ、ゴミの分別、リサイクルを推進する

- ・職員会を効率よく行い、会議時間を平均1時間30分以内にする。
- ・生徒会美化部会の美化パトロールを毎日実施する。
- ・ゴミの分別を徹底する。分別したゴミを資源として、再利用に役立てる。